



宝永小だより

No.3

福井市宝永小学校

令和7年5月26日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

5・6年生 がんばっています！委員会活動

本校には、下記のような5つの委員会があります。5・6年生の子どもたちが、本校のリーダーとして、それぞれの委員会に属し、「みんなでよりよい学校に！」を合言葉に、学校生活の充実と向上を図り、より楽しく、幸せに満たされたものにしようと頑張っています。子どもたちは、委員会の中で、主体的に取り組み、創意工夫して活動しています。一人一人が輝きを放ち、活躍の場にしたいと願っています。

4月25日（金）の「にこフレ集会」では、前期委員会の紹介をしました。下記のような「めあて」や「活動内容」を委員会ごとに、大きな声で全校に伝えることができました。また、どの委員会も堂々と立派な態度で発表し、子どもたちは各委員としての自覚と責任を高めることにもなりました。

委員会のポスターは、現在、体育館横の掲示板に掲示してあります。



＜委員会紹介の様子＞

委員会	めあて	活動内容
企画・生活	・他の学年と交流し、仲を深められるような企画を考えよう。 ・誰にでも明るく元気なあいさつをしよう	・全校朝礼の司会・進行 ・にこフレ集会の企画・進行 ・学年別の遊びのテレビ企画 ・あいさつ運動 ・にこフレ遊びの放送
保健・運動	健康で運動が好きになる企画を考えよう	【保健】・石けんの補充・換気当番 ・学校保健委員会での発表 【運動】・竹馬・一輪車・ボールの後片付けの呼びかけ ・ボールかごの設置 ・動画作成
環境	ごみのない、すこしやすく美しい環境に整えよう	・毎週の金曜日にゴミを出す ・ゴミ箱の中身をゴミ倉庫に持っていく ・掃除場所の点検
図書	全校のみんなに本を好きになってもらえるような活動をしよう。	・新聞の取り換え、本の貸し出しと返却 ・本の整頓 ・窓開け、パソコンの電源を入れる
放送・文化	聞いている人が元気になるようなおもしろい企画を考えて放送しよう。	・1日の学校の放送 ・番組制作 ・ファミリーフォーカスの紹介

授業参観・PTA総会・学級懇談会を開催しました 4月25日（金）

今年度、初めての授業参観を実施しました。211名の保護者の皆様に参観いただき、どの教室でも子どもたちの張り切っている姿が見られました。特に1年生の教室では、子どもたちが図画工作「ちよきちよきかざり」の学習に取り組んでいました。子どもたちは様々な色の折り紙を折ったり重ねたりした後に、はさみで好みの形に切り抜いていきました。切り抜いた後に折り紙を開くと、素敵な飾りができあがり大喜びでした。

多くの保護者の皆様に、ご来校いただき、ありがとうございました。お子様の健やかな成長を願う思いは、保護者の皆様も教職員も同じです。お子様のことで何か心配なことがありましたら、いつでもお気軽にお知らせください。



＜1年生の授業参観の様子＞

アートクラブの作品展



昨年度のアートクラブの子どもたちの作品を体育館後方の廊下に掲示しました。これらの作品は、アートクラブ担当の〇〇 〇〇 様の「清水画廊 in 武周 2025 企画展」でも展示していただきました。子どもたちがクラブの時間に集中して描いていただけて、素敵な、個性あふれる作品となっています。それぞれの絵の裏面には、清水 様がコメントを書いてくださり、子どもたちの宝物となりました。ありがとうございました。

←＜題名「昔から使っているふで箱」＞

「ありがとう」の木を育てよう

5月1日(木)～

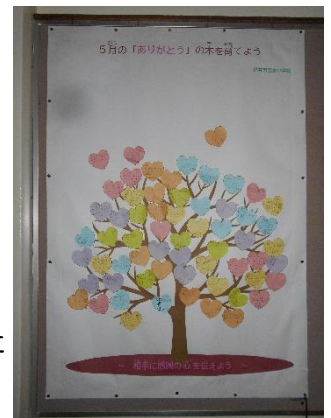
5月1日(木)に全校朝礼があり、「ありがとう」の意味と「ありがとう」を伝えることの大切さについて、子どもたちへ話をしました。「ありがとう」とは、感謝の気持ちを表す言葉です。もともとは「あり がたし」と言われており、『めったにない、めずらしい』という意味があったようです。つまり、「ありがとう」には『めったにないことで、ありがたい』という意味があるようです。

ここで、子どもたちに2つの質問をしました。1つ目に「皆さんが学校生活の中で、『ありがとう』という気持ちになるときは、どんなときですか」と尋ねました。子どもたちは「手伝ってもらったとき」「親切にしてもらったとき」などと応えてくれました。2つ目に「皆さんは『ありがとう』という気持ちを、相手にきちんと伝えていますか」と尋ねました。多くの子どもたちが「伝えている」と返してくれました。

相手に「ありがとう」と言うことは、相手がしてくれたことや相手がいることに、深い感謝の気持ちを示すことになります。そして、相手に「ありがとう」を伝えることで、『お互いに気持ちよくなります』『お互いにうれしい気持ちになります』『相手とよいつながりができます』『自分の心が豊かになります』と、相手に「ありがとう」を伝えることの大切さを話しました。

ここで、私から子どもたちに「『ありがとう』の木を育てよう」という提案をしました。誰かがしてくれたことに「ありがとう」というメッセージカードを書いて、そのカードを貼り付け、「ありがとう」の木を育てたいという思いを伝えました。さらに、この取組は1年間を通して行っていくという、私の決意表明も加えました。

現在、何人もの子どもたちが「ありがとう」のメッセージを発信しています。以下にその一部を紹介させていただきます。



<5月の「ありがとう」の木>

Mさんへ

給食当番だった時
わすれていて教えて
くれたことです

Mより

Tさんへ

今日よう虫をさがし
ていたら、Tさんが
よう虫をくれてうれ
しかったです

Kより

Oさんへ

ろう下を走っている
子をちゅう意してく
れて、ありがとうご
ざいました

Iより

Mさんへ

大休みに下級生のK
さんが校庭で転んだ
ため、やさしく保健
室へ連れて行ってく
れました。ありが
うございました。

T校長より

Mさんへ

国語と算数の時間に
教科書を落とした時
にひろってくれてあ
りがとう

Uより

Sさんへ

けがをしたときに
一しょにほけんしつ
行ってくれて
ありがとう

Rより

Tさんへ

体育館でおたよりを
ひろってくれて
ありがとう。

Kより

Kさんへ

教室前廊下にこぼれ
ていたお茶を、トイ
レットペーパーでふ
き取ってくれました。
ありがとうござ
いました。

T校長より

Mさんへ

図工のときに水をこ
ぼして、ふくのを手
つだってくれてあり
がとう

Kより

Mさんへ

体育館に落ちていた
はなかみを拾ってく
れてありがとうござ
いました

T校長より

Oさんへ

2の1教室に落ちて
いたごはんつぶを、
トイレットペーパー
で拾ってくれました。
ありがとうござ
いました。

T校長より

1ねんせいのみなさんへ

なかよしい、いっしょ
にあそんでくれて「あ
りがとう」。たのしか
ったよ。またいっしょ
にあそぼうね。

Tより

*5月14日(水)・15日(木)に、6年生の修学旅行が無事に終了しました。京都・奈良・大阪へ出かけ、24名全員が充実した2日間を過ごすことができました。詳しくは、次号以降の「宝永小だより」でお伝えします。この2日間、学校では、6年生の代わりに5年生の子どもたちが、よく頑張ってくれました。集団登校の班長や委員会の仕事に対して責任をもってこなすことで、日頃の6年生の大変さや偉大さに気付いたようです。子どもたちが、様々なことを経験しながら、心豊かに成長してくれることを願っています。